

(※) 第26回有識者会議での議論を踏まえ、事務局にて対応すべき主な指摘事項について整理。

| 主なご指摘事項 (※) | 対応方針等 | |
|---|---|---|
| | 該当箇所 | 対応内容 |
| リニア中央新幹線静岡工区に関する報告書(令和5年報告)～環境保全に関する検討～(案) | <ul style="list-style-type: none"> 例えば個体群存続可能性分析も提言されているが、それを使うためには、例えばどのくらい卵が生まれ、どれくらい死亡して等というデモグラフィパラメーターをすべて満たさないと、どれくらいのポピュレーションが維持されるのか予測できない。物理的環境が最初が変わって、その後、生物の個体数が変わっていくので、生物の個体数のみをずっと見ていたら遅い。そういう意味では物理的環境の変化をしっかりと見ていくと言うことは、より予防的であり、私はこのスキームでよい。 (重要種の影響を)環境影響評価の主軸にすると、このエリアの生態系を構成している生物群集の重要な観点を落としてしまうおそれがある。あらかじめ決めた種だけで見ると、その沢で起きている現象を把握しきれない可能性がある。物理的環境に対してモニタリングをして、その変化を把握して対応する方が、予防原則的にはより優れた方法である。 | P3 生態系への影響の前に起こる物理的環境の変化を見ていくことを追記。 物理的環境の変化を見ることは予防的な対応になりうることを追記。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 順応的管理の仮説が何なのか伝わるようにすべき。 | P3,7,11,16 | 影響の予測が「仮説の設定」であり、論点毎に何が仮説なのか分かるように追記。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 35の沢のモニタリング項目に、地形を追加すべき。 | P6 | 35の沢で、地形のモニタリングをすることを追記。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 関係機関という言葉が多く出てくるが、どこまでの範囲なのか示すべき。 | P17 | 「静岡県や静岡市等の地域の関係者との双方向のコミュニケーションを十分に図り」と修正。 |

引き続き議論が必要な委員ご指摘事項

(青字：新たなご指摘事項)

(※) 論点整理後の会議での議論を踏まえ、引き続き議論が必要な指摘事項について整理。

| ご指摘事項 (※) | | 対応方針等 | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| | | 該当箇所 | 対応内容 |
| 資料2 本編 1. 中央新幹線建設事業の計画及び工事概要 | <ul style="list-style-type: none"> 南アルプスの環境について、現状と課題の記載を追加すべき。(第26回) | 第27回 資料2 本編 P1-4~9 | <ul style="list-style-type: none"> 南アルプスの現状と課題について具体的に追記。 <今回会議で議論予定> |
| 資料2 本編 3. 地下水位低下による沢の水生生物等への影響と対策 | <ul style="list-style-type: none"> 降水量と河川流量の相関を見ておくべき。(第26回) | 第27回 資料2 本編 P3-126 | <ul style="list-style-type: none"> 降水量と河川流量の関係について追記。 <今回会議で議論予定> |
| | <ul style="list-style-type: none"> 35の沢のモニタリング項目に、地形を追加すべき。(第26回) | 第27回 資料2 本編 P3-126 | <ul style="list-style-type: none"> 35の沢で、地形のモニタリングをすることを追記。 <今回会議で議論予定> |
| | <ul style="list-style-type: none"> 湧水の場所を把握し、モニタリングすべき。(第26回) | 第27回 資料2 本編 P3-149 | <ul style="list-style-type: none"> 湧水のモニタリングについて追記。 <今回会議で議論予定> |
| | <ul style="list-style-type: none"> 詳細調査の種、個体数のリストを示すべき。(第26回) | 第27回 資料2 資料編 (非公開版) P非2-1~70 | <ul style="list-style-type: none"> 調査結果に種、個体数のリストを追加。 <今回会議で議論予定> |
| 資料2 本編 4. 地下水位低下による高標高部の植生への影響と対策 | <ul style="list-style-type: none"> シミュレーションについて、飽和度を示すべき。(第26回) | 第27回 資料2 本編 P4-11, 30~40, 43 | <ul style="list-style-type: none"> 飽和度の結果を追記。 <今回会議で議論予定> |
| | <ul style="list-style-type: none"> シミュレーションについて、各パラメータの感度解析をしておくべき。(第26回) | 第27回 資料2 本編 P4-33 | <ul style="list-style-type: none"> 複数のパラメータの解析結果を追記。 <今回会議で議論予定> |